28高障害第1069号
平成28年７月８日

日本介護支援専門員協会高知県支部長　様

高知県地域福祉部障害保健福祉課長
（　公　印　省　略　）
高次脳機能障害相談支援センター長

平成28年度高次脳機能障害者支援地域研修会の開催について

日ごろから、本県の精神保健福祉行政の推進につきまして、格別のご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

さて、県では、地域における関係機関の高次脳機能障害への対応力の向上及び関係機関の連携強化を図る取組としまして、平成25年度から地域研修会を開催しており、今年度も別添写しのとおり地域毎に研修会を開催しますので、お知らせします。

つきましては、貴所属会員に対しまして当該研修会に積極的にご参加いただくよう、研修会の周知等にご配慮をお願いいたします。

なお、当該開催通知につきましては、県内の各病院及び精神科、神経精神科、神経科、神経内科、脳神経外科、リハビリテーション科、小児科のいずれかの診療科を標榜している診療所及び各障害福祉サービス提供事業所並びに各介護福祉サービス提供事業所宛に通知しておりますが、貴所属会員のうち、貴会のご判断において特に本研修会の受講が必要と思われる方がある場合には、個別に参加のご案内をしていただきますよう併せてお願いいたします。

【問い合わせ先】
〒780-8570　高知市丸ノ内1-2-20
高知県地域福祉部障害保健福祉課
精神保健福祉担当：森光
電話：088-823-9669、ＦＡＸ：088-823-9260

写

28高障害第1069号
平成28年７月８日

関　係　各　位

高知県地域福祉部障害保健福祉課長
（　公　印　省　略　）
高次脳機能障害相談支援センター長

平成28年度高次脳機能障害者支援地域研修会の開催について

日ごろから、本県の精神保健福祉行政の推進につきまして、格別のご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

さて、本県における高次脳機能障害の方への支援としましては、平成20年度から高知ハビリテーリングセンターに「高次脳機能障害相談支援センター」を設置し、電話や面接による相談等の個別支援や関係機関の職員に対する人材育成等を行ってきたところです。

高次脳機能障害の症状は、障害の重さ、発症・受傷からの期間やそれ以前の生活等により、地域・社会生活を送る上での支援ニーズも多岐にわたります。それらの多様なニーズに対応するためには、医療・福祉・行政その他の関係機関と連携した支援体制が必要となります。また、高次脳機能障害の方が住みなれた地域で安心して暮らすためにも、地域の関係機関の対応力の向上は必要です。

このため、県では、地域における関係機関の高次脳機能障害への対応力の向上及び関係機関の連携強化を図る取組としまして、平成25年度から地域研修会を開催しているところです。

今年度におきましても、下記のとおり地域毎に研修会を開催することとしましたので、貴下の職員に積極的にご参加いただけますよう、研修会の周知等につきまして、ご配慮をお願いします。（県障害保健福祉課ホームページにも掲載しています。）

つきましては、研修のお申し込みについて、別添申込書に必要事項をご記入の上、ＦＡＸにて高次脳機能障害相談支援センターまでご送付ください。

なお、本研修会の開催通知につきましては、別記一覧宛に送付していることを申し添えます。

記

１　内　容

（１）「高次脳機能障害への支援について」
　　講師：南国中央病院　副院長　宮本　寛氏

（２）「子どもたちの高次脳機能障害への支援について」
　　講師：高次脳機能障害相談支援センター　支援コーディネーター

（３）事例検討（グループワーク）

（４）質疑応答

2　開催日時及び会場

（1）安芸ブロック

開催日時：平成28年９月７日（水）18:00～21:00

会場：安芸福祉保健所（安芸総合庁舎）　２階会議室（安芸市矢ノ丸1-4-36）

（2）中央東ブロック

開催日時：平成28年９月20日（火）18:00～21:00

会場：南国市保健福祉センター　２階多目的ホール（南国市大埇甲320）

（3）高知ブロック

開催日時：平成28年９月13日（火）18:00～21:00

会場：高知共済会館　３階大ホール「さくら」（高知市本町5-3-20）

※会館の駐車場はホテル利用者も使用していますので、高知県庁本庁外来駐車場や近隣有料駐車場、公共交通機関をご利用ください。

（4）中央西ブロック

開催日時：平成28年８月31日（水）18:00～21:00

会場：いの町総合保健福祉センター（すこやかセンター伊野）大会議室
（吾川郡いの町1400）

（5）須崎ブロック

開催日時：平成28年８月３日（水）18:00～21:00

会場：医療法人南江会 一陽病院　５階娯楽室（須崎市赤崎町9-3）

（6）幡多ブロック

開催日時：平成28年８月16日（火）18:00～21:00

会場：四万十市社会福祉センター　大会議室（四万十市右山五月町8-3）

3　主催及び後援団体

（1）主催団体

高知県、高次脳機能障害相談支援センター

（2）後援団体

高知県医師会

4　参加費

無料

5　問い合わせ先

（1）研修会の参加申込み・高次脳機能障害に関すること

高次脳機能障害相談支援センター（高知ハビリテーリングセンター内）

〒780-0313　高知市春野町内ノ谷63-6　担当：古庄（ふるしょう）

電話：088-842-1921 / FAX：088-842-2601 / E-mail：koujinou@chikamori.com

ホームページ：http://www.chikamori.com/famille/business/koujinou/

（2）開催通知に関すること

高知県地域福祉部障害保健福祉課

〒780-0850　高知市丸ノ内1-2-20　担当：森光

電話：088-823-9669 / FAX：088-823-9260 / E-mail：060301@ken.pref.kochi.lg.jp

ホームページ：http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/060301/

別記

各市町村障害保健福祉主管課（支所含む）
中芸広域連合障害保健福祉主管課
各福祉保健所
精神保健福祉センター
療育福祉センター
中央児童相談所
幡多児童相談所
中央西県税事務所
高次脳機能障害支援委員会各委員
高知県社会福祉協議会
各市町村社会福祉協議会（支所含む）
各年金事務所
各公共職業安定所（出張所含む）
高知障害者職業センター
各障害者就業・生活支援センター
障害者スポーツセンター
各障害者福祉センター
各医療機関（病院・診療所）
各障害福祉サービス関係事業所
（指定相談支援事業所・居宅介護・重度訪問介護・同行援護・行動援護・短期入所・グループホーム・障害者支援施設・地域活動支援センター・小規模作業所・障害児通所支援事業所・障害児入所施設）
各介護福祉サービス関係事業所
（訪問介護・訪問看護・訪問リハ・居宅療養・通所介護・通所リハ・短期生活・短期療養・特定施設・居宅支援・福祉施設・老健施設・療養医療・小規模住宅）
各特別支援学校

別　紙

FAX:088－842－2601

高次脳機能障害相談支援センター（高知ハビリテーリングセンター内）

担当：古庄（ふるしょう）　あて

平成28年度高次脳機能障害者支援地域研修会参加申込書

団体名	
電話番号	（　　）　　－
担当者氏名	（申込内容について回答できる方をご記入ください）

■参加者

職名・職種	氏　名	希望会場

※希望会場を下記より１つ選び、番号をご記入ください。
会場等、詳細については、案内文書をご覧ください。

■会　場

（1）安　芸ブロック（H28.9. 7（水）18:00～21:00）
（2）中央東ブロック（H28.9.20（火）18:00～21:00）
（3）高　知ブロック（H28.9.13（火）18:00～21:00）
（4）中央西ブロック（H28.8.31（水）18:00～21:00）
（5）須　崎ブロック（H28.8. 3（水）18:00～21:00）
（6）幡　多ブロック（H28.8.16（火）18:00～21:00）

※当日参加も可能ですが、開催日の一週間前までにお申込みください。

２枚目もあります。

■事例検討

地域毎の実際の事例を活用した事例検討を行いたいと考えています。
各現場で支援に携わる皆様が、関わっている事例について、当日活用してもかまわない事例がある場合は、以下に記載をお願いします。（※事例を記載することは、必須ではありません。）

団体名	記入者氏名	連絡先

【事例区分】右記から選択してください。	①上手くいった事例 ②困難事例・支援が途中となってしまった事例 ③在宅生活で潜在化していた事例 ④就労に関する事例 ⑤小児に関する事例 ⑥その他

事例参考

①上手くいった事例

例：

- 医療機関の紹介、診断後に相談支援事業所と協力しサービスへと繋がったケース。以降も、医療機関を交えた定期的なカンファレンスや、家族会や家族教室で家族同士の繋がりや高次脳機能障害を学ぶ場を紹介する家族支援行った、ケースの振り返り。

②困難事例・支援が途中となってしまった事例

例：

- 高次脳機能障害が疑われる方が、本人の病態認識が困難で診断や治療を拒むケースの支援方法について。
- 高次脳機能障害の診断以降、家族の不仲や離婚によってキーパーソンが不在となり、本人の精神状態も不安定となったケース。

③在宅生活で潜在化していた事例

例：

- 脳損傷が軽度であったため、急性期から在宅生活へと帰ったが、在宅復帰後の生活場面で問題が徐々に明らかになり、家族が抱えてしまい潜在化したケース。

④就労に関する事例

例：

- 就労支援機関を経て就職した会社の同僚の関わり方や障害理解、サポート等について難しいと感じたケース。
- 高次脳機能障害者の就労支援をどのように行えばいいのか迷ってしまうケース。

⑤小児に関する事例

例：

- 保護者の受容や教育側の障害理解など、損傷間もない小児支援の関わり方が難しい感じたケース。

⑥その他